

oet OBI Bible Institute
お茶の水聖書学院
NEWS

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-1
OCC ビル3F
TEL 03-3296-1005
FAX 03-3296-4641
Email: office@obi-net.com
Web://www.obi-net.com
お茶の水聖書学院
お茶の水聖書学院後援会・同窓会



OCC理事長
村上宣道

「主の期待する働き人」

主イエスは弟子たちに「収穫は多いが、働き人が少ない。だから収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにして

もらいなさい」と言われた（マタイ 9・37、38）。

今この時代も、主が働き人を求めておいでのことに変わりはないであろう。このような時に、卒業式を迎えられた方々は、これまでの学びを通して主の期待する働き人となるべく備えられてきたわけなので、学業としては一応卒業したものの、むしろこれからが本番

で、この日はいよいよ主の期待する働き人としての巣立ちの日、派遣の時であると言えよう。

さて、主が期待する働き人にはどのような期待があるのだろうか。37節は日本語訳でみると「収穫は多いが、働き人が少ない」となっているが、これがある英訳でみると the harvest is so great で、一つ

のセンチンスとして完結していて、それに but laborers are few と続く。私たちは伝道という視点で周りを見る時、とかく労する割には収穫は少ない、と思ってしまうのだが、

しかし主の目からご覧になると収穫はとても多く、むしろ少ないのは働き人なのだとされる。この点から主の期待する第一の条件は、主と同じ目をもってフィールドを見る働き人であると考えられる。

次に、前節36には、主が群衆を見て「羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れているのをごらんなって、深く憐れまれた」とある。これを英訳でみると He was moved with compassion とあり、主イエ

スの心は深い憐れみによって突き動かされたという。私たちの伝道の動機もこれではなければならない。主の期待する働き人は、このように主と同じく、弱り果てて滅びていこうとしている人々に対する深い憐れみで心動かされる者なのであるまいか。

もう一つ、パウロがテモテ第二の2・15節で「恥じるところのない練達した働き人になつて、神に自分をささげるように努め励みなさい」と勧めているように、どこに出しても恥じるところのない練達した働き人になることが期待されている。主は、主と同じビジョンを持ち、主と同じく深い憐れみの心を持ち、そして練達した恥じるところのない働き人になることを期待しておられる。主の働き人に卒業はないはず。だから、お互いにこの日を、主に期待される働き人をめざして、新たに身を献げる時とさせていただきたいと願われるのである。

（3月2日卒業式説教要約）

二〇一八年度卒業生

神は愛なり



聖書科
正科卒業生
安佛理恵

ども教えて頂き、日々健康も守られ、神の愛を体感し、10年以上続いていた苦しい状態も癒され、感謝、感謝である。今も働き給う愛なる主に信頼して、これからも進みたい。

「私たちの救い主である唯一の神に、私たちの主イエス・キリストを通して、栄光、威厳、支配、権威が、永遠の昔も今も、世々限りなくありますように。アーメン」(ユダ25)。

健全な信仰を 修得するために



聖書科
正科卒業生
田村雅志

私は学生時代に福音主義の教会で受洗しましたが、異端の教えがあることも知りました。異端のグ

ループに所属することはなかったものの、彼らは私たちが読んでいる聖書とは違うものを正典としている事を知り、福音主義で主張している「聖書は神のことばである」とはどういう意味なのか、そしてその根拠は何なのか。教えられてきた様々な教理、神学の根拠は何を基にしているのか等を自分なりに納得する学びがしたいと思いつつ、OBIで学ぶ機会が与えられ、このたび卒業の一区切りである卒業研究レポートの作成により、自分の信仰を整理できたことは感謝です。

これまでの学びで知ったことは、自分が信じていた神学、教理の他にも色々な学説、解釈があることでした。これからも聖霊の導きを祈りつつ学びを続け、神に受け入れられる健全な信仰を修得し、自分の立ち位置を確立すると共に、神の偉大さを経験させていただきたいと願っております。

卒業を感謝して



聖書科
正科卒業生
吉野俊子

四年間があつという間に過ぎ、卒業レポートの課題に取り組むことが出来ました。

指導の先生によって、ステップを踏みながら細やかにアドバイスを受け完成出来た日を、感謝と感動を覚えつつ思い起こしています。

この喜びはOCC、OBIが行ってくださった卒業式に実感として湧き上がりました。卒業証書を藤原先生と村上先生より、記念品を福井先生より手渡して頂いた時でした。

受講生同志の教派による違いを認めつつ意見交換が出来、プ

高校二年生の冬、初めて行った教会の説教壇の上に「神は愛なり(イヨハネ4・16)」の聖句が掲げてあった。その約35年後、お茶の水聖書学院での「ヨハネの福音書」、藤原導夫学院長の最終講義にて、大切な教えとしてその同じ御言葉が語られ、私は涙に濡れた。

OBIでの学びを振り返るに、個性豊かな先生方、学友の皆様との出会いが有り、聖書の重要教理、地理・歴史、実践神学な



ライブートな問題を話すこともあり、良き出会いの場でした。

講義は受講生からの質問を大切に聞いてくださる先生の姿勢から、キリストにある者としての謙遜を教えていただきました。学び続ける原動力となったOBI全体の祈りと励ましがあってこそその四年間でした。信徒としてスタートラインに立つための学びでした。その願いに答えて下さいました先生方、受講生一人一人に心からの御礼と感謝を申し上げます。

御言葉を実践する



聖書科
正科卒業生
田中甲子郎

学院での学びを導いてくださった主に感謝いたします。私が学ん

だことの一つは、「本当に実践されるべきものは聖書である」ということです。

というのは、教会で聖書を重んじるとは言いながらも、実は人の考え、教会の伝統や、国の文化、社会の「常識」などが、もつと幅を利かせ実践されていることが知らずしてあるものです。それがいつの間にか大きくなり、当たり前になっていくことが多々あります。

しかし、聖書を注意深く読み、御言葉を実践することが大切で、優先されるべきものであると学びました。そうして卒業研究において安息日について取り組んだ際、新しいことが見えてきました。御言葉を信仰生活に適用していくことは簡単なことではありませんが、今、聖書を調べ、聖書に聴いていくことを忘れないでいたいです。

丁寧にご指導くださった先生方に感謝いたします。これからの学院の発展をお祈りいたします。

主よ おわりまで

聖書科 正科卒業生

白鳥智裕

毎年、OBIの卒業式で歌われる賛美歌があります。「主よ、おわりまで 仕えまつらん、みそばはなれず おらせたまえ。世のたかいは はげしくとも、御旗のもとにおらせたまえ。」大好きな賛美歌の一つです。

人はその人生において、いろいろな問題に直面します。しかし、私たち信仰者は、「いのり」と「信仰」によって、そのたかいに立ち向かいます。私たちが集まるのは、ただ一つ、十字架の旗のもとなのです。

入学して、二年通い、三年半休學し、復學後、働きながら、半期に一科目ずつ単位を取得し、三年半通いました。入学してから卒業まで、九年かかりました。その間、多くの困難がありました。

OBIの便箋の端に御言葉が書かれています。「あなたが歩む一歩一歩、私はあなたの前に道をひらく」(箴言4・12)。

まさに、そのとおりの歩みでした。おわりまで、御旗のもとにおらせたまえ。栄光在主。



2018年度 第26回 卒業式
2019年3月2日(土)

学窓トピックス

●卒業式

第26回OBI卒業式が3月2日、執り行われました。今年は、聖書科の安佛理恵姉(日本同盟基督教団・子母口キリスト教会、白鳥智裕兄(日本基督教団・静岡教会)、

田中甲子郎兄（海外長老会・藤沢キリスト教会）、田村雅志兄（日本バプテスト教会連合・真砂バプテスト教会）、吉野俊子姉（日本福音キリスト教会連合・長津田キリスト教会）の五名を送り出すことができました。

●入学式

第29回OBI入学式が4月1日、執り行われ、聖書科15名、教会音楽科1名の新入学生が学びに取り組み始めました。

●新年度より、次の先生方が教鞭を執ってくださいることとなりました。坂本誠先生（下北沢ナザレン教会牧師）「キリスト教倫理」、遠藤潔先生（日本長老教会連沼キリスト教会牧師）「主の祈り、十戒、使徒信条を読む」、大嶋重徳先生（鳩ヶ谷福音自由教会牧師）「ユースミニストリー特講」。

●2018年度をもって福井誠先生は教務主任の働きを終えられませんが、講師として引き続き教えてください。長年にわたり教えてくださった飯島勅先生は

2018年度をもってその奉仕を終えられました。

●OBIでは、一人でも多くの方に学びを提供できればと願い、奨学金制度を設けています。経済的に厳しい場合などにはご利用ください。また奨学金の趣旨にご賛同くださる方は寄付のご協力をよろしくお願いいたします。お問い合わせは事務局までお願いいたします。

●サマー・スクーリングのご案内
7月1日（月）～2日（火）

「日本文化とキリスト教」と題して大和昌平先生（東京キリスト教大学教授・神学部長）をお招きし、山崎製パン総合クリエイションセンター（市川市）にて行います。

●教会音楽デーのご案内

7月13日（土）、チェロ奏者のベアンテ・ボーマン氏に講演と演奏をしていただきます。優れた音楽家として、また伝道者としても、ご夫妻で献身的に奉仕しておられます。どうぞ期待しつつ、ふるってご参加ください。

ご献金者名（五十音順）

（2018年11月6日）

2019年3月28日）

皆様の尊いご献金を心より感謝申し上げます。

安藤良一 会田征子 天海和彦
安佛理恵 阿久津千枝子
有田貞一 有田美榮子
伊地智恵子 岩淵勲 生田今日子
石井由紀 石原由美子 石塚幸子
池上喜久子 飯島多稼夫
猪狩友行 猪狩多佳子 伊藤洋子
上野優佳子 植木朋子 荻野朝子
小倉賢子 落合秀美 奥村輝夫
奥津晃 奥津榮子 小野沢恵子
甲斐博 柏保朝子 柏原知佐子
春日一海 鬼京由紀子
北城恪太郎 北城みどり
北川君子 窪田淳子 倉内一壽
倉内裕子 倉沢薫代 慶徳正好
駒井卓 近藤はるみ 小林直子
後藤恵 佐藤敬 嶋崎岳史
杉山礼子 須子都 鈴木芳宣
関口悦子 田村雅志 田中美恵

高沢茂雄 田中美穂 戸川正子
東條容子 戸川偕生 永澤良子
中島總一郎 中平悦子 西口修一
芳賀功 日名富子 福井ちよ
藤原導夫 藤原智子 堀口容子
堀肇 細野正道 松崎ひかり
真鍋雅美 町田恵子 増田慶子
丸山幹夫 宮崎誉 三井裕幸
水口功 村上宣道 森本馥
森井あずさ 山口庄一 上田留美子
山崎龍一 山田由美子
山本しづか 吉野俊子
米田由起子 脇坂勇
市川北バプテスト教会
宇都宮聖書バプテスト教会
OCCお茶の水聖書学院後援会・同窓会
荻窪栄光教会
鎌倉海岸キリスト教会
練馬神の教会
OBI学院生会
久遠基督教会
小平聖書キリスト教会
中山キリスト教会
日本同盟基督教団古河教会
山崎製パン株式会社飯島延浩
百合ヶ丘バプテスト教会